

# 広報あんな

平成9年12月発行(No.203) 恩納村役場 総務課 TEL(098)966-8006



青と緑の豊かな活力ある村

村のひと(10月末日)

男	4,761人	(-5)
女	4,545人	(-7)
計	9,306人	(-12)
世帯数	3,034世帯	(-14)

## スポレクおきなわ'97 ビーチバレー大会

- ◆第10回全国スポーツ・レクリエーション祭
- ◆恩納村新庁舎基本設計案決まる
- ◆むらの話題 九州地方更生保護婦人大会
- 第15回恩納村老人婦人運動会
- 文化協会5周年記念事業
- 「恩納村文化祭・芸能部門」開催
- ◆「太陽の家」委嘱状交付式

## 第4回

### うんな農業まつり

私たち恩納村には、観葉植物・切花・切葉・野菜・果樹等を中心に熱帯果樹も含め様々な農産物が生産出荷され県内外の市場より高い評価を受けています。これらの農産物と一緒に、展示即売し村内外の皆様に紹介するとともに、今後の地域農業の振興発展と活性化を図ろうと第四回うんな農業まつりを開催します。

村民多数のご来場をお待ちしております。

とき 平成9年12月20日(土)~21日(日)午前10時  
ところ 恩納村コミュニティ広場  
出店物 観葉植物、切花、切葉、野菜、果樹  
即売品 加工品、手芸品、農機具、その他

## 恩納村で生産された農産物・加工品を



## 一同に展示・即売

主 催: 恩納村地域農業振興推進連絡協議会(農振協)  
共 催: 恩納村・やんばる農協  
後 援: 村商工会・村漁協・村婦人会  
・生活改善実行グループ  
・村老人クラブ連合会・JA女性部恩納支部

## 第11回 恩納村福祉・健康まつり

とき 平成9年12月21日  
ところ: 恩納村コミュニティーセンター

### テーマ

御万人揃てい 健康守ら  
(ウマンチユスルティ、ガンジュウサビラ)



現在、我が国は世界に類をみない早さで人口の少子化、高齢化が進んでいます。このような中で、いかに明るく健康で活力ある地域社会を実現するかが重要な課題です。

福祉・健康まつりは住民が集い、ともに語り合い、ふれ合うことによって、「健康づくり」に関する意識の高揚を図り、「自らの健康は自ら守る」という理念を作り上げ、健康で心豊かな村づくりを形成していくことを目的に実施するものです。

### イベント

#### 福祉・年金部門

★「交流」をとおして福祉について身近に語りあえる事をねらいとする。

- 1、展示コーナー  
介護機器、女性手芸など
- 2、介護支援相談コーナー(支援センター職員)
- 3、実演コーナー  
介護実体験、プラバン作成
- 4、交流コーナー
  - 1) 障害者、高齢者、中高生ゲーム交流
  - 2) 高齢者「わたしが自慢一番」(社会福祉協議会)
  - 3) フリーマーケット(社会福祉協議会)
  - 4) 育児支援の紹介(育児サークル、ワイワイクラブ)

#### 国保・保健衛生部門

1、メインコーナー 自然道ウォーキング  
★車社会の現代、歩くという日常の動作が減り、運動不足が懸念される中、ウォーキングへの関心が高まってきた。各自に必要な運動とエネルギーの知識を自然を満喫しながら体得することをねらいとする。

- 2、栄養指導コーナー
- 3、運動指導コーナー  
ストレッチ体操
- 4、国民健康保険コーナー
- 5、環境衛生コーナー  
リサイクルバザー(出店募集)
- 6、喫煙度測定コーナー(保健所、検査機関)
- 7、健康相談コーナー(保健婦による)

#### 1 がんじゅうでびる賞

- 対象者  
1) 97歳(カジマヤー)を迎えた方と100歳以上の高齢者。  
2) 歯の健康賞

#### 2 歯の健康賞

- 対象者  
1) 村内在住の平成9年度80歳到達者で20本以上の歯を保持している方(8020歯の健康賞)  
2) 平成8年11月~平成9年11月の3歳児健康診査の結果に基づき虫歯を有しない幼児

## 競技越え 交流を深める



▲交流宣言を行なった地元NAVIチームの玉城一史、順子夫妻、伊芸直行、美代子夫妻



▲開始式に花を添えた村内各小中学校プラスバンドのみなさん



▲1位グループで優勝した福岡県グレッシャンドチーム



▲ふれあい広場では沖縄そばが無料で振るまわれました。



▲浦添高校バレー部員も運営補助員として頑張りました



▲連日各コートで熱戦が繰り広げられました



▲スポレク賞1位表彰を受け渡す宇地原徳淳沖縄県バーボル協会長、橋本篤治日本ビーチバレー連盟副会長、比嘉茂政村長（左より）



# 第10回全国スポーツ・レクリエーション祭 スポレクおきなわ'97 ビーチバレー大会

「きらめくちゅらうみ ふれあうげんき」をスローガンに「第10回全国スポーツ・レクリエーション祭（スポレクおきなわ'97ビーチバレー大会）」が、サンマリナホテル前ビーチを会場に開催されました。全国から五十四チーム四百三人がビーチバレー競技にさわやかな汗を流し、勝敗を別にして交流を深めました。大会は、十五日の代表者会議、歓迎レセプションに続き、十六日の予選リーグ、十七日の決勝トーナメントの日程で行われました。

歓迎レセプションでは比嘉茂政村長をはじめとする村内関係者多数の方が県内外の競技選手、役員らと親睦を深め交流の輪を広げました。また、競技の他にふれあい広場では、村学校給食センター職員、婦人会員が汗だくになりながら沖縄そばや中身汁の琉球料理を振るまい県外選手団から大好評でした。スポレクおきなわ'97ビーチバレー大会の様子を写真で紹介します。



▲沖縄らしさを出した歓迎レセプションに会場からは盛んな拍手が送られました。



▲美味しい食事に会話も弾む



▲スポレク体操で歓迎



▲各チームの監督、キャプテンが参加して行われた代表者会議



▲2日目ふれあいステージでは出演者と競技者、役員が一体となりカチャーシーを踊りました。



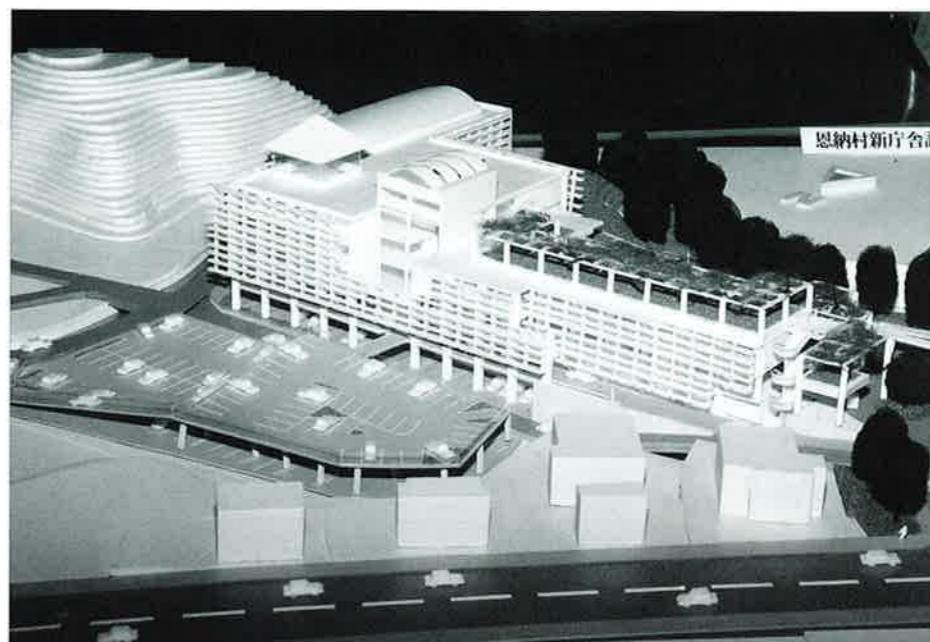
▲県外参加者と琉装舞踊者と記念撮影

# 「恩納村庁舎」設計競技審査

## 最優秀作品賞に慶佐次操さん

(有)名工企画設計

村は、村庁舎基本設計案の選定を沖縄県建築士会へ委託しました。その沖縄県建築士会が主催する第八回設計競技「恩納村庁舎」審査会が村コミュニティセンターで、開催されました。(過去最高七十八点応募)



## 「恩納村庁舎」設計競技審査委員

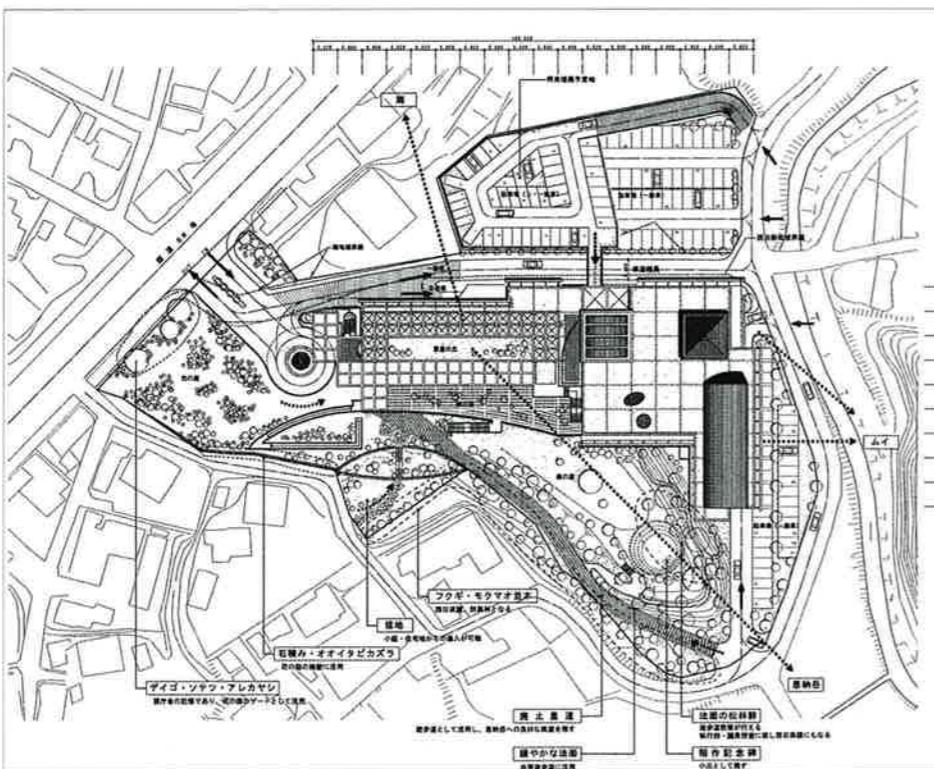
### 基本設計案の選定に関する意見

#### ■選考の理由

- (1) 恩納村庁舎建設委員会、恩納村住民の意見を充分に取り入れる、柔軟性のある(変更に耐えられる)作品である。
- (2) 住民サービスへの配慮及び広場コミュニティーを提供している。
- (3) 1、2階の行政事務部門が優れて機能的である。
- (4) 環境への配慮、東南部の地形を残しつつ、周辺環境への配慮がある。
- (5) 高齢者及び身障者への配慮がなされている。

#### ■設定への条件

- (1) 国道及び庭からのテラスへの歩行者のアプローチを積極的に配慮すること。
- (2) 国道側の植栽が建物を隠していることと、スロープの再検討。
- (3) 三角テラスの屋根に解放性を持たせたい。
- (4) 水平ルーバーは、西陽対策として有効であるかの再検討。
- (5) 村長、助役室を大会議室に入れ替えて、建物の中心に配慮すること。
- (6) 議場の天井高を再考すること。
- (7) 吹き抜け上部の議会ロビーを工夫すること。
- (8) 地下1階のエレベーターを屋内化し、車椅子利用者に充分な配慮をすること。
- (9) アマハジテラスは自然との融合を意識して計画すること。
- (10) 恩納村らしい農村のイメージの演出を考慮すること。
- (11) 地場材料を積極的に活用すること。
- (12) 観光村としての演出を備えた庁舎とすること。
- (13) 建物の性格上、村民ならびに庁舎建設委員との、細かい打ち合わせの上で進めること。



■一次審査委員	
石井 和紘	(株)石井和紘建築研究所代表
比嘉 茂政	(恩納村長)
池田 孝之	(琉球大学教授)
金城 正光	(沖縄県建築士会副会長)
國場 幸房	(株)国建取締役副社長
■二次審査委員	
(恩納村庁舎建設委員会委員)	
池田 孝之	(琉球大学教授)
富川 洋一	(沖縄県建築士会副会長)
宇江城 安忠	(元恩納村議會議員)
大城 勝保	(恩納村老人会会长)
仲嶺 真光	(JAやんばる恩納支所長)
比嘉 豊林	(恩納村議會議員)
山城 良一	(恩納村議會議員)
山城 久一	(恩納村長会会长)
和子 光	(恩納村婦人会会长)
英 喜	(恩納村青年団協議会会长)
穏 稔	(沖縄県職員)
穏 (沖縄県議會議員)	
穏 (恩納村婦人会会长)	
穏 (恩納村青年団協議会会长)	
穏 (恩納村教育長)	
西 錦	(恩納村企画課長)
徳 元	(恩納村建設課長)
儀 清	(恩納村総務課長)
儀 正	(恩納村建設課長)
勇 勇	(恩納村建設課長)

## 各賞受賞者

審査会は、十月二十四、二十五の二日間、一次審査を選定しました。二十六日には、一次審査で選定された三点を村内各団体の長らで編成する恩納村庁舎建設委員会委員へ諮詢し、二次審査が行われました。二次審査の結果、最優秀作品賞には、(有)名工企画設計の慶佐次操さんの作品が選ばれ答申されました。

村は、十一月十四日に府内会議を開き正式に慶佐次操さんの作品を基本設計案に決定しました。平成九年度内には基本設計、平成十年四月以降に実施設計を行い、同年十月頃から現敷地で着工を予定しています。基本として現庁舎を壊さずに東方で建設が進められ、地下二階、地上三階(土地約一万二千五百平方メートル)で床面積約五千二百平方メートルで床面積は現庁舎の約二・五倍になります。新庁舎での業務開始は平成十二年四月を予定しています。

No.53 最優秀作品賞	No.61 優秀作品賞	No.23 優秀作品賞
No.72 72 No.65 65 No.43 43 No.24 24	No.7 グループ藍 T・設計工房武岡 南建築事務所 & T BEN建築研究室 & M.Y.U設計工房 運天浩・与那嶺徳 高江洲晶子・寄川孝栄・普久原朝隆 智	No.6 (有)設計集団 閃 松田幸吉 西銘吉昭・奥平芳照・安里吉一 狩俣光是・山川榮・仲座盛八 共同組合沖縄県まちづくり研究会 大浜信春・渡久山由紀子・古見輝夫・浜川智

## むらの話題

このコーナーでは、皆さんからのお便りをお待ちしています。

身近な話題や出来事、珍しい写真など、お気軽に寄せください。

966-8006 (内線200)



▲鼻を押さえながら敏速に避難しました



▲力強く選手宣誓を行なった前兼久老人会長山城さんと村婦人会副会長石嶺さん



▲来賓祝辞で比嘉茂政村長は「みなさまのご尽力には敬意を表します」と述べました

村内の各小中学校で年二回（春秋）実施されている火災非難訓練が11月12日、安富祖小中校（新城和市校長児童生徒百六十七人、職員二十三人）で行われました。火災が発生したと設定された煙が立ち込め、校内には非常ベルと避難放送が鳴り響きました。児童生徒たちは、先生の指示に従い鼻を押さながら退場へ集合しました。

村内の老人婦人が、スポーツを通して健康の増進を図り、相互の親睦を深めることを目的とした第十五回恩納村老人婦人運動会（主催 恩納村老人クラブ連合会）が10月28日、村コムニティーグラウンドで開かれ村内の老人婦人多数が参加し心地よい汗を流しました。

## 本番さながらの火災避難訓練 安富祖小中学校



▲実際に消化器を使った訓練も行われました

大会は、各校区ごとの四チーム（喜瀬武原校、安富祖校は合同）に別れ、ふうせん割りされました。火災が発生したと設定された煙が立ち込め、校内には非常ベルと避難放送が鳴り響きました。児童生徒たちは、先生の指示に従い鼻を押さながら退場へ集合しました。

村内の老人婦人が、スポーツを通して健康の増進を図り、相互の親睦を深めることを目的とした第十五回恩納村老人婦人運動会（主催 恩納村老人クラブ連合会）が10月28日、村コムニティーグラウンドで開かれ村内の老人婦人多数が参加し心地よい汗を流しました。

## ハッスルフレー続出 第十五回恩納村老人婦人運動会



▲今日の獲物は泡盛「万座」一升

10月16、17の両日、「九州地方更生保護婦人大会」（主催九州地方更生婦人会連盟、沖縄県更生保護婦人会連盟）が九州各县の更生保護婦人会代表の参加で、リザンシードパークホテル谷茶ベイで開催されました。大会は、犯罪者や非行少年の更生の援助と犯罪予防活動の推進に当たって交流を深め意見交換を行うのが目的で、初日の16日に三分钟会に別れ研究協議を行なわれました。

17日式典の来賓祝辞で比嘉茂政村長は「日頃から皆様が青少年の非行防止活動罪を犯した方の保護活動に取り組まれていて敬意を表します。この度本村にも更生保護婦人会が誕生し、今後の明るい社会づくりに役立つものと期待しています」と激励しました。式典の最後には、九州地方更生保護婦人会連盟加藤会長により「私たちの力を結集し、明るい社会づくりに努力する」との宣言文を読み上げ決議しました。

## 明るい社会を目指して 九州地方更生保護婦人大会



▲九州各県より800人近くの会員が集まり開催されました

前久の金城さん宅を訪れた龜井君ら四人は、夕食に沖縄料理のモテなしを受けました。夕食の感想について「沖縄料理を食べるのは初めてですがコーキー（にがく）料理は思ったほどは苦くなく、

歯ごたえがあつて美味しい」と話していました。また、その日の午前に平和学習で訪ねた本島南部の糸数壕の話題にも触れ、「壕は眞っ暗闇でとても人が行ける様な場所ではなく、戦時中、壕での生活の事を考えさせられました」と感想を述べていました。



▲近所で交流を深めた女子も一緒に記念撮影

## ふれあい修学旅行 埼玉県大宮北高校

村を訪れる本土の修学旅行の生徒を村内の各家庭で受け入れて沖縄の文化を理解してもらう「ふれあい修学旅行」（主催、村経済観光課、村商工会）が行われ、埼玉県大宮北高等学校の生徒三百二十人が10月16日、村内の各家庭で交流を深めました。

前久の金城さん宅を訪れた龜井君ら四人は、夕食に沖縄料理のモテなしを受けました。夕食の感想について「沖縄料理を食べるのは初めてですがコーキー（にがく）料理は思ったほどは苦くなく、

歯ごたえがあつて美味しい」と話していました。また、その日の午前に平和学習で訪ねた本島南部の糸数壕の話題にも触れ、「壕は眞っ暗闇でとても人が行ける様な場所ではなく、戦時中、壕での生活の事を考えさせられました」と感想を述べていました。

宿泊先へ帰る午後八時を忘れてしまった。大学生になつたらまた遊びに来ますと名残惜しそうに金城家を後にしました。



▲近所で交流を深めた女子も一緒に記念撮影

## 琉舞、民謡など多彩な演技披露

### 恩納村文化祭・芸能部門

村文化協会が発足してから今年で五周年を迎え、記念事業として「恩納村文化祭・芸能部門」(主催恩納村文化協会)が十月十八、十九の両日、村コミュニティーセンターで開催されました。文化祭は、村の伝統芸能の保存と文化活動の活性化を図る目的で開催されているもので、十八日には、特別事業として名嘉真区と谷茶区に残るウスデークの鑑賞会と区内五中学校生徒によるブラスバンドが演奏されました。また、十九日の「芸能部門」では、五部会(琉球古典音楽、琉球音楽、琉球舞踊、合唱、大正琴)から、約百五十人が出演し、「かぎやで風」、「高平良万才」の琉舞、合唱など日頃の活動の成果十五演目が披露され、会場の観客からは多くの拍手が送られました。



▲多くの観衆が村の芸能を堪能しました



▲村内知名人による舞踊「かぎやで風」



▲「ナビーズコーラス」による合唱



▲特別事業として名嘉真区と谷茶区のウスデークも披露されました



▲とりを務めた又吉春佳さん、宇室紗弥香さんの高平良万才

表現豊かに発表 中頭大会へ六人代表

りです。

武原小中校体育館、山田小中校体育館が十月三十日、安富祖公民館、喜瀬小中校体育館で、各部門の最優秀賞受賞者は次のとおりです。

会場の審査員、友達も熱心に聞き入っていました。

エスチャートっぷりに童話を披露し、各部門の最優秀賞受賞者は次のとお

○小学校低学年(童話)  
長浜山可英樹(安富祖小一年)  
○小学校高学年(お話)  
佐久本妃奈子(安富祖小五年)  
○中学校高学年(お話)  
康茜(山田中二年)

で武原小中校体育館、山田小中校体育館が十月三十日、安富祖公民館、喜瀬小中校体育館で、各部門の最優秀賞受賞者は次のとおりです。

会場の審査員、友達も熱心に聞き入っていました。

エスチャートっぷりに童話を披露し、各部門の最優秀賞受賞者は次のとお

りです。

会場の審査員、友達も熱心に聞き入っていました。

エスチャートっぷりに童話を披露し

